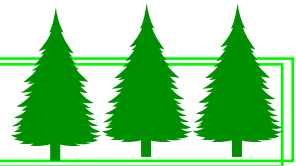


みつぎ便り



第179号 8月号 令和3年7月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

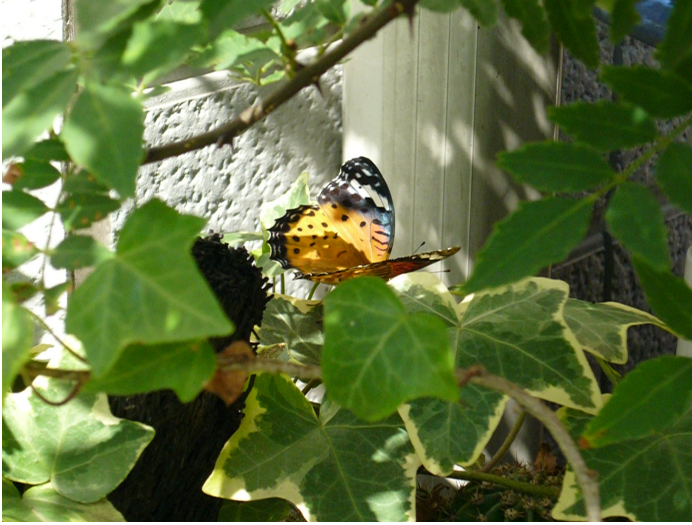


板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です

夏休み特集 チョウ(蝶)

やあ皆さん、僕は蝶です。幼虫の時は毛虫とか呼ばれ気持ちが悪いなと言われるんだけど、蝶になれば大変身！美しい姿に皆うっとり。

大人(成虫)になるまでに、卵↓幼虫↓蛹(さなぎ)↓成虫と形を変えるよ。およそ五十日かかるかな。でも成虫となってからは寿命は二週間ほど、中には越冬して一年以上生きる仲間もいるんだけど。



モンシロチョウ、アゲハチョウなど僕の仲間は世界中に一万八千種、日本には二百四十種くらいいるよ。場所は草原、湿原、雑木林、高山などです。それぞれの場所にそこしかない仲間も住んでいるんだよ。

幼虫時代は植物の葉を食べるのですがそれも特定の種類に限られるんだ(これを食草と呼びます)。例えばアゲハチョウはミカン科、モンシロチョウはアブラナ科(キャベツ、小松菜など)オオムラサキはニレ科のエノキ類などと決まっている。成虫の食べ物には花の蜜を吸うんだ。僕らの口はストロー状で大変細長く、花の蜜を吸うのに都合がよくできている。このとき花粉がめしべについて受粉を助けてるんだ。花とは持ちつ持たれつの関係かな。

先日、見次公園の池の周りを僕らを探して会員の人達が歩いたのだけれど当公園には僕らが好む柑橘系等の草、樹木が少ないのでなかなか見つからなかったと思う。それでも秋まではまだまだ僕らに会えると思います。近くでは高島平、東京大仏の



近くに草木の種類も多く、仲間が沢山いるよ。僕らは気温摂氏十五度〜二十度以上でないとい飛ばないから観察するなら日中が良いよ。

姿といえば僕らの標本を見た人は多いと思うのですが、美しい仲間がたくさんいるよ。ブラジルには真っ青な羽根を持つ仲間がいたり、アジア、インドネシアの島々にもそこにはかない珍しい種類が生息しているよ。さて僕を見つけられるかな。

(重)